



REHSE
**高校生による環境安全とリスクに関する
自主研究活動支援事業の記録**

**平成26年度の活動
～施設見学会・成果発表会～**



事業の目的 (対象:高等学校・高等専門学校)

目的

学習活動の充実

知識の
習得

知識の
活用

探求心

自主研究活動支援



目標

環境安全とリスクに関する

知識の
習得

思考力

判断力

表現力

育成



高校生の環境安全とリスクに対する理解促進の一助



東大施設見学／研究成果発表会 東京大学にて開催 (3月14日～15日)

【3月14日(土)】(事前登録をした参加高校関係者とメンターのみ)

- 13:30 東京大学に集合
- 13:35 全体概要、スケジュール説明 (東大・環安本部 飯本武志准教授)
- 13:45 東京大学最先端化学実験施設見学 (東大・環セ 辻佳子准教授)
- 16:00 宿へ移動(徒歩15分程度)→ 弥生門、安田講堂、正門、赤門等本郷キャンパス経由

【宿泊】東京本郷「朝陽館本家」

- 17:00 自己紹介&学校紹介タイムー各校10分の持ち時間で、自由にプレゼン。
- 18:00 夕食会、自由時間(入浴等)
- 19:30 実習「放射線の基礎知識と実験」
- 21:00 交流会(※成果発表会の発表順序を決定)
- 22:30 初日終了

【3月15日(日)】(一般公開) 東京大学工学部11号館講堂 司会:吉識 肇、根津友紀子 (REHSE)

- 7:30 朝食
- 8:30 退館、各自で会場に徒歩で移動
- 8:45 工学部11号館講堂に集合

平成26年度 研究成果発表会

- 9:00 開会挨拶 (REHSE理事長 大島義人)
- 9:10 活動概要、参加校、協賛企業紹介、審査方法 (実行委員長 東大・環安本部 飯本武志)
- 9:20 成果発表会 (各校発表10分+質疑応答10分)
- 11:50 ランチョンセミナー(企業発表) 一産業界における環境と安全、リスクに関する研究開発と対応の最前線
- 12:50 特別講演Ⅰ「地下世界の利用に関する夢とリスクマネジメント」東大(新領域) 徳永朋祥
- 13:40 特別講演Ⅱ「高校生の発信で、社会が変わる、社会を変える」東京新聞 鈴木賀津彦
- 14:40 審査結果発表、講評、表彰
- 15:00 アンケート、記念撮影、等
- 15:15 解散



東京大学見学（平成27年3月14日）

スケジュール

| | |
|----------------|-------------|
| 13:35-13:45 | 概要説明 |
| 13:50-15:35 | 研究室見学 |
| 引率：[1班] B4幡宮くん | [2班] M2中川くん |
| 工学部3号館 | 医学部1号館 |
| 館内安全設備 | 伊藤研究室 |
| 堂免・久保田研究室 | 工学部3号館 |
| 工学部5号館 | 山下・牛山研究室 |
| 辻研究室 | 館内安全設備 |
| 15:40 | 座談会 |
| 16:00 | 解散 |



スケジュール説明



研究室訪問



研究室訪問



東京大学見学（平成27年3月14日）



施設を見学



研究室訪問



東京大学 赤門前にて



合宿にて 放射線の基礎知識と実験 (平成27年3月14日)



講義「放射線の基礎知識」



実験の説明



放射線に関する実験



研究者との交流



合宿にて 情報交換会（平成27年3月14日）



発表会前夜の交流会



研究成果発表会 (平成27年3月15日)



ご挨拶 REHSE理事長、大島義人



発表会会場の様子



概要説明 実行委員長 飯本武志



研究成果発表会 (平成27年3月15日)



発表の様子





研究成果発表会（平成27年3月15日）



活発な質疑応答の様子





特別講演／産業界最前線プレゼン（平成27年3月15日）



表彰式と講評（平成27年3月15日）



- <最優秀賞> 麻布高等学校(東京)
「雨水が河川水となるまでの過程についての研究」
- <審査員特別賞> 福島県立福島高等学校(福島)
「福島県内外の高校生個人線量比較」
- <審査員特別賞> 埼玉県立不動岡高等学校(埼玉)
「紫外線のミドリムシへの影響」
- <優秀賞>
 - 八戸工業大学二高等学校(青森)
「放射線を利用した発電は可能か」
 - 愛媛大学附属高等学校(愛媛)
「身の回りの交通安全とリスクアセスメント」
 - エクセラン高等学校(長野)
「レアメタルリサイクルの現状と課題」
 - 高槻高等学校(大阪)
「湧水中に含まれる放射性物質の測定と放射線の影響について考える」



最優秀校
REHSE理事長、チューターの先生と



平成26年度 参加高校・支援企業・実行委員

